

いとなみ

森野 水琴

彼は旅先で、ご当地ならではの自然を楽しむ。
自然に寄り添い、農作業する人たちの、小さな営みに触れるのも彼の楽しみである。

商店街で売り買いしている人たちにも、それぞれの小さな営みがある。
人の数だけ夢があり、それぞれの夢を実現するためにいそしんでいる姿を、彼は垣間見ている。

偶然にも夢のかけらを話してくれる人に出会った時、彼は熱心に耳を傾け、その人となりや暮らしぶりに思いを寄せる。

時には感化されて、彼自身を磨いてくれそうな場合もある。
自分探しの旅というよりも、自分磨きの旅である。

きょうもまた 彼は小さな営みを探しに行く